

小樽市議会

議事堂でコンサート

新年 半世紀ぶり一般開放

小樽市議会は1月6日午後0時15分から、市役所3階の市議事堂（花園2）で新年のクラシックコンサートを開催する。普段は本会議を行う議事堂が一般行事に開放されるのはほぼ半世紀ぶりとみられ、市議会事務局は「より多くの市民に足を運んでいただければ」と話している。

（米林千晴）

市議事堂は現在、市議会議事堂のほかに、市役所公式行事に使用されて

3年（昭和8年）ころは

市中心部にホールがなく、市は議事堂を公会堂代わりに開放していた。議長席がある一段高い部分をステージにし、演劇などの公演が行われていたという。63年に市民会館が完成してからは、こうしたことはなくなった。コンサートは、横田

久俊議長と斎藤陽一良副議長が、小樽で毎年「ニューイヤークラシックコンサート」を開いている。ピオラスタークラス実行委に持ちかけて実現。市議会活性化検討会議で、「開かれた議事堂」の取り組みの一つとして議事堂の一般開放が

地にあった。当日は、常設の傍聴席に加え、議員席周辺にイスを並べて100席ほどを用意。ピオラスターの今井信子さんが議長席部分を利用したステージで、シュトラウス2世の「美しく青きドナウ」などの演奏を45分間披露する。入場無料。問い合わせは市議会事務局 ☎ 0134・22・2847へ。



久しぶりに一般行事に開放される市議事堂。奥の議長席付近がステージになる